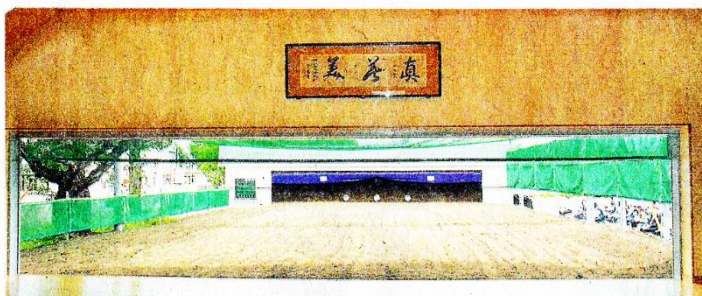


新弓道場完成 8月8日(土)竣工式及び道場開きを実施しました。



完成した弓道場の内部



「祝射」を行う弓道部の2年生

青森
青高の新弓道場完成
部員、卒業生が祝射
創立120周年記念

青森高校(宍倉慎次校長)
は8日、創立120周年の

記念事業として建設した新弓道場の道場開きを行った。同校弓道部の2年生や卒業生33人が「祝射」を行い、完成を祝った。同校の弓道場は2000年から仮設だったことから、創立120周年記念事業で弓道場を新設することを決定。同窓生から集めた約5千万円の協賛金を活用し、今年4月から工事を進めていた。鉄骨造りで、総床面積は191平方メートル。的を設置する土盛り「安土」に使う土など、細かい部分は卒業生の意見を反映させた。

部長の秋元蘭さん(2年)は「これまでの弓道場より広くなったので圧迫感がなく弓を引けた」と笑顔で話した。今後は広さを生かして「1年生に弓を引く経験を積ませたり、上級生が弓を引く動作を磨いたりしていきたい」と意気込んだ。宍倉校長は「生徒たちが待ち望んだ施設が完成し感無量だ。文武両道を体現する生徒がどんどん出てきてほしい」とさらなる活躍を願った。

(村上敦哉)

東奥日報 2020年(令和2年)8月11日(火)朝刊 掲載

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです